

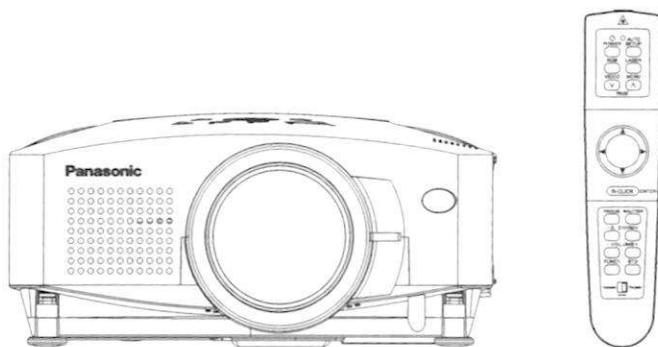
# Panasonic

液晶プロジェクター

業務用

## 取扱説明書

品番 TH-L720  
TH-L520



このたびは、パナソニック 液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書はTH-L720、TH-L520共用の取扱説明書にしています。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■製造番号は安全確保上重要なものです。

お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付

上手に使うって上手に節電

# もくじ



安全上のご注意	4	各部の名前と働き	12
付属品を確認する	9	本体前面・上面	12
お手入れ/上手な使いかた	10	本体後面・底面	13
運搬上の留意点	10	本体操作部・リモコン	14
設置に関する留意点	10	接続端子部	16
使用上の留意点	10	RGB入力モニターについて	17
お掃除とお手入れ	11	オートセットアップについて	17
投写する	26	デジタルズーム機能 を使う	32
電源の切りかた	27	台形歪を補正する	33
オンスクリーンメニューに ついて	28		
メニュー画面一覧	28		
メニュー画面の操作方法	30		
表示されないオンスクリーン項目に ついて	30		
前の画面に戻す	30		
調整値を工場出荷設定に戻す	31		
フリーズ機能を使う	31		
オプション設定	40	バックカラー	41
OSD表示	40	投写方式1	41
自動台形補正	40	投写方式2	41
自動RGB入力選択	40	ファン制御	41
RGB2入出力選択	40	ランプパワー	41
RGB/Y・PB・PR	40	ランプ時間	41
SXGAモード	40	FUNC1設定	41
		操作キー	41
モニターランプに ついて	46	ランプを交換する	49
エアフィルター の清掃・交換	48	ランプユニット交換上 のお願い	49
清掃手順	48	ランプユニットの 交換時期	49
		ランプユニットの 交換手順	50
		修理を依頼される 前に	52

リモコンの使いかた	18	パソコンとの接続例	23
レーザーポインター機能	18	設置する	24
ワイヤレスマウス機能	19	投写方式	24
乾電池の入れかた	20	投写関係	24
操作範囲	20	投写距離	25
接続する	21		
接続の前に	21		
AV機器との接続例	22		
映像を調整する	34	ポジションを調整する	37
映像モード	34	水平位置	37
色温度設定	34	垂直位置	37
色の濃さ	35	ドットクロック	37
色あい	35	クロックフェーズ	37
黒レベル	35	アスペクト	38
ピクチャー	35	リサイジング	39
シャープネス	35		
ノイズリダクション (NR)	35		
TVシステム	35		
静止画モード	35		
白バランスR/G/B	36		
表示モード	36		
sRGBに対応した映像にするには	36		
シャッター機能を使う	42	シリアル端子	44
表示言語を切り換える	42	接続	44
インデックスダブル機能を使う	43	ピン配列と信号名	44
		通信条件	44
		基本フォーマット	44
		制御コマンド	45
		ケーブル仕様	45
仕様	54	保証と アフターサービス	57
付録	56	外形寸法図	58
対応信号リスト	56		




# 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	<b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
	<b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。  
(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

## **警告**

- 煙やへんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

- 煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

- 天井取り付け(天つり)などの設置工事は専門の技術者に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。



# 警告

## ■使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。また、本機から離れる場合は主電源を切ってください。

## ■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

## ■カバー、ケースを外したり、改造したりしない



分解禁止



内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

	<b>高圧注意</b>
	サービスマン以外の方は、ケースをあけないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

## ■荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない



禁止

強度が弱い所や不安定な場所に設置すると、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

## ■内部に異物や水などが入ったり、落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

火災・感電の原因となります。

- 修理は販売店にご依頼ください。

## ■電源プラグのほこりは定期的に掃除をする



電源プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

## ■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



ぬれ手禁止

感電の原因となります。

# 警告

## ■電源プラグは根元まで 確実に差し込む



差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

## ■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

## ■水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ  
禁止

火災・感電の原因となります。

## ■風呂場、シャワー室では使用しない



禁止

火災・感電の原因となります。

## ■上に水などが入った容器を置かない



禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

## ■異物を入れない



禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

## ■リモコンを子供に使用させたり、レーザー光をのぞきこんだり、人に向けない



禁止

リモコンより発射されるレーザー光を、直接目に当てますと、視力低下などの原因になることがあります。

## ■電池の+・-部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない



禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

- ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。



## 警告

- 排気孔には手や物を近づけない



禁止

空気吹き出し口からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

- 雷が鳴り出したら、本機やケーブルに触れない



接触禁止

感電の原因となります。

- ランプ交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

感電や破裂の原因となります。

- ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから(1時間以上待つて)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。



## 注意

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



コードをひっぱるとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、必ず接続線を外す



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

# ⚠ 注意

- 電池はショート、分解、加熱、火・水に入れるなどしない



禁止

発熱、液もれ、破裂などを起こし、けがややけどの原因になることがあります

- 電池を入れるときは極性表示(+と-の向き)に注意する



間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

- 指定以外の電池を使用しない



禁止

破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない



禁止

間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。

- 上に重い物を置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となる場合があります。

- エアフィルター部や排気孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

- 本機に乗らない



禁止

倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に小さなお子様にはご注意ください。

- ランプが破裂したときには以下のことを守り正しく取り扱う



本機の内部やランプハウス内にはガラス片が散乱している可能性があります。

- 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。
- 通風口よりガスや粉塵が出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれています。万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。



## ⚠ 注意

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

- 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する



本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

準備

## 付属品を確認する

下図の付属品が入っていることを確認してください。

リモコン 1個 (N2QAEA000001) 	RGB信号ケーブル 1本 (3.0 m VGA用、 K1HB15FA0001) 	リモコン用単4形乾電池 2個 
	電源コード 1本 (K2CA2FZ00006) 	キャリングバッグ 1個 (TPEP007) 

### 注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

# お手入れ/上手な使いかた

## 運搬上の留意点

**運搬中は必ずレンズカバーを取り付けてください**

投写レンズは、振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時には、付属のキャリングバッグを利用してください。

## 設置に関する留意点

本機の設置については下記の事項を必ずお守りください。

**振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください**

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両・船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

**高圧電線や動力源の近くに設置しないでください**

高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

**本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください**

天井からつり下げて設置される場合は、別売りの天つり金具(品番：TY-PK730)をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。

海拔1 400 m以上でのご使用に際しては、41ページの「ファン制御」を「高」に設定してください。

そのまま使用すると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。

## 使用上の留意点

**美しい映像をご覧いただくために**

スクリーン面に外光や照明などの光が入ると、ハイコントラストで美しい映像を見ることができません。窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。

**投写レンズ面は素手でさわらないでください**

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映りますのでレンズ面には手をふれないでください。また本機を使用されないときは、レンズカバーを被せておいてください。

**スクリーンについて**

ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

## ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプにはつぎのような特性があります。

- 使用時間の経過とともに、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。特に10時間以上の連続使用では、寿命に大きな影響を及ぼします。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。

## 廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

## 液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されています。投写画面の一部にドット欠けや、常時点灯が存在する場合がありますが、あらかじめご了承ください。

## 光学部品について

毎日6時間以上連続使用される場合、1年未満でも液晶パネル、偏光板などの光学部品の交換が必要になることがあります。詳しくは、お買い上げの販売店へご相談ください。

## お掃除とお手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

### キャビネットは柔らかい乾いた布で

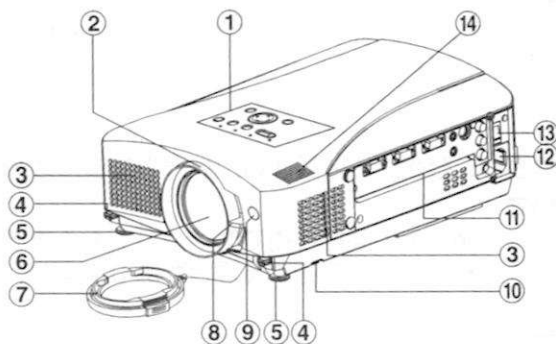
汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

### レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください

レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。

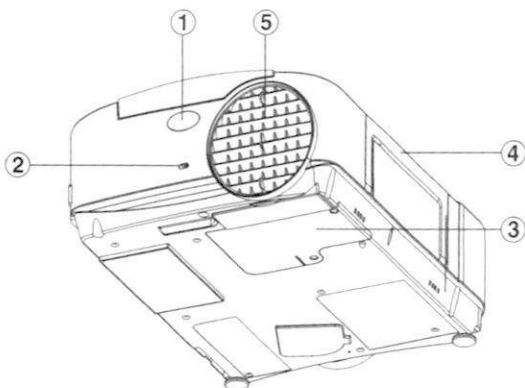
# 各部の名前と働き

## 本体前面・上面



- ① 本体操作部  
(14ページ)
- ② フォーカスリング  
(27ページ)
- ③ 吸気孔  
ふさがないようにしてください。
- ④ アジャスターボタン(左・右)  
(26ページ)  
本機底面の前方アジャスター脚のロックを解除できます。押しながら本機の傾きを調整します。
- ⑤ 前方アジャスター脚(左・右)  
(26ページ)
- ⑥ 投写レンズ
- ⑦ レンズカバー
- ⑧ ズーム調整つまみ  
(27ページ)
- ⑨ リモコン受光部(前)  
(20ページ)
- ⑩ エアフィルター  
(48ページ)
- ⑪ 接続端子部  
(16ページ)
- ⑫ AC入力(AC IN)端子  
(26ページ)  
付属の電源コードを接続します。付属のもの以外は接続しないでください。
- ⑬ 主電源(MAIN POWER)スイッチ  
(26、27ページ)
- ⑭ スピーカー

## 本体後面・底面



### ① リモコン受光部(後)

(20ページ)

### ② 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。また、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総代理店の連絡先は以下の通りです。日本ポラデジタル株式会社 第3営業部

〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル  
Tel : 03-3537-1070  
Fax : 03-3537-1071

※連絡先は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

### ③ ランプユニット収納部

(49ページ)

### ④ キャリングハンドル

### ⑤ 排気孔

ふさがないようにしてください。排気の風向を変えることができますが、電源を入れる前の冷えた状態で行ってください。



## 警告

■ 排気孔には手や物を近づけない



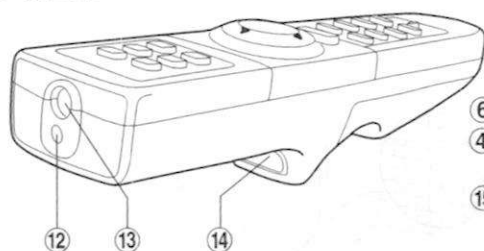
禁止

空気吹き出し口からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となります。

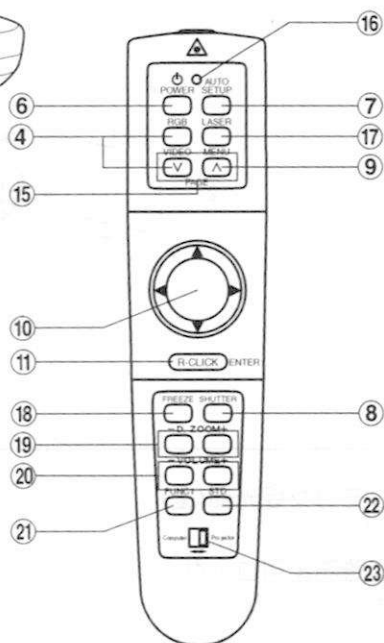
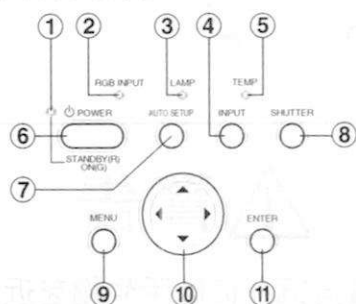
### お知らせ

- 映像投写中は、冷却ファンが回転するため動作音があります。また、ランプ点灯時や消灯時は動作音が大きくなります。
- 「オプション2」メニューの「ランプパワー」を「低」に設定すると、動作音が低減します。(41ページ参照)

## リモコン



### 本体操作部



#### ① 電源モニター

(26、27ページ)

主電源を入れると赤色に点灯し、電源が入り投写を開始すると緑色に点灯します。

#### ② RGB入力(RGB INPUT)モニター

(17ページ)  
RGB入力(RGB1 IN/RGB2 IN)端子の入力信号の有無を検知します。

#### ③ ランプ(LAMP)モニター

(47ページ)  
ランプユニットの交換時期になると点灯します。ランプ回路に異常が発生すると点滅します。

#### ④ 入力切り換え (INPUT、RGB、VIDEO) ボタン

(26ページ)

#### ⑤ 温度(TEMP)モニター

(46ページ)  
周囲温度または本機の内部温度が異常に上昇すると点灯します。一

定温度を超えると自動的に電源が切れて点滅します。

#### ⑥ 電源(POWER)ボタン

(26、27ページ)

#### ⑦ オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン

(17、27ページ)

映像を投写してこのボタンを押せば、入力信号にあわせて自動調整します。さらに、本機の傾きを検知して台形歪を自動的に補正します。(調整中は画面に「自動位置補正」と表示されます。)台形歪補正による画質劣化を防止するには、「オプション1」メニューの「自動台形補正」を「オフ」に設定してください。

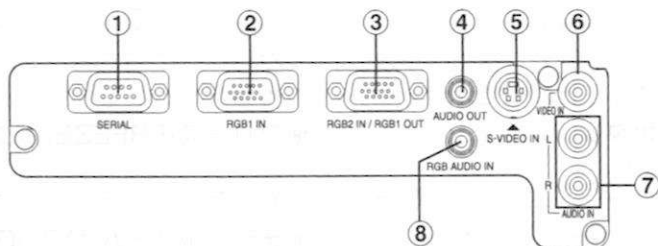
#### ⑧ シャッター(SHUTTER)ボタン

(42ページ)

映像と音声を一時的に消すことができます。

- ⑨ **メニュー(MENU)ボタン**  
(28、30ページ)  
メインメニューを表示させます。  
メニューが表示されている時は、  
前の画面に戻したり、メニューを  
閉じたりすることができます。
- ⑩ **▲▼◀▶ボタン**  
(30ページ)  
オンスクリーンメニューで項目を  
選択したり、設定の切り換え、調  
整を行うことができます。  
※ リモコンのパソコン操作モー  
ド時は機能が変わります。  
(19ページ)
- ⑪ **エンター(ENTER)ボタン**  
(30ページ)  
オンスクリーンメニューで、項目の  
決定や実行をすることができます。  
※ リモコンのパソコン操作モー  
ド時は、機能が変わります。  
(19ページ)
- ⑫ **レーザー光発射部**  
(18ページ)
- ⑬ **赤外線発射部**  
(20ページ)
- ⑭ **クリックボタン**  
(19ページ)  
リモコンのパソコン操作モード時  
に使用します。
- ⑮ **ページ(PAGE)ボタン**  
(19ページ)  
リモコンのパソコン操作モード時  
に使用します。
- ⑯ **リモコン操作表示ランプ**  
(18ページ)  
レーザー光を発射している(レーザー  
[LASER]ボタンを押している)間は  
点灯します。それ以外のボタンを押  
している間は点滅します。
- ⑰ **レーザー(LASER)ボタン**  
(18ページ)  
ボタンを押している間、レーザー  
光を発射します。レーザー光をス  
クリーンに当てることにより、ポ  
インターとして利用できます。
- ⑱ **フリーズ(FREEZE)ボタン**  
(31ページ)  
動画を一時的に静止させます。
- ⑲ **デジタルズーム(D.ZOOM +/-)ボタン**  
(32ページ)  
映像を拡大することができます。
- ⑳ **音量(VOLUME +/-)ボタン**  
内蔵スピーカーの音量を調整します。  
本体で調整する場合は28ページ  
をご覧ください。
- ㉑ **ファンクション1(FUNC1)ボタン**  
(33、41、43ページ)  
台形歪調整モード(台形補正)に切  
り換えたり、静止画像と動画の2  
画面表示(インデックスダブル)に  
することができます。「オプション2」メニュー内の「FUNC1設  
定」で切り換えることができます。
- ㉒ **スタンダード(STD)ボタン**  
(31ページ)  
調整値を工場出荷状態に戻します。
- ㉓ **操作モード切り換え(Computer, Projector)スイッチ**  
(19ページ)  
パソコンを操作するときには左側、  
プロジェクターを操作するとき  
は右側に切り換えます。

## 接続端子部



- ① シリアル(SERIAL)端子  
(22、23、44ページ)  
パソコンから本機を制御するための端子です。(RS-232C準拠)
- ② RGB1入力(RGB1 IN)端子  
(22、23ページ)  
RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。
- ③ RGB2入力/RGB1出力(RGB2 IN/RGB1 OUT)端子  
(22、23、40ページ)  
RGB信号またはYPbPr信号を入力出力する端子です。「オプション1」メニューの「RGB2入出力選択」で入出力の切り換えができます。
- ④ 音声出力(AUDIO OUT)端子  
(22、23ページ)  
本機に入力された音声信号を出力します。この端子に接続すると内蔵スピーカーからは音声が出ません。
- ⑤ Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子  
(22、38ページ)  
Sビデオ対応のビデオデッキなどからの信号を入力する端子です。S1信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて16:9または4:3に自動切り換えます。
- ⑥ ビデオ入力(VIDEO IN)端子  
(22ページ)  
ビデオデッキなどの映像信号を入力する端子です。
- ⑦ ビデオ/Sビデオ用音声入力(AUDIO IN L-R)端子  
(22ページ)  
1系統しかありませんのでビデオとSビデオで差し替えて使用してください。
- ⑧ RGB音声入力(RGB AUDIO IN)端子  
(22、23ページ)  
1系統しかありませんのでRGB1とRGB2で差し替えて使用してください。



## RGB入力モニターについて

RGB入力モニターでRGB/YPbPr信号の入力の有無を確認することができます。下表を参照してください。

RGB入力モニター の状態	電源の状態	
	スタンバイ	オン(投写中)
点灯	RGB1またはRGB2入力端子のどちらかに信号が入力されている。	入力切り換えで選択した入力端子に信号が入力されている。
消灯	RGB1、RGB2入力端子のどちらにも信号が入力されていない。	入力切り換えで選択した入力端子に信号が入力されていない。

## オートセットアップについて

オートセットアップボタンを押せば、下表の項目を自動設定します。入力信号によって設定項目が変わります。下表を参照ください。

	水平/垂直位置	ドットクロック/ クロックフェーズ	自動RGB入力 選択	自動台形補正
ビデオ/ Sビデオ	/	/	/	○
YPbPr	/	/		○
ドットクロック 100 MHz以上	○	×		○
上記以外の RGB信号			○	

### お知らせ

- 画像の端が判らないような画像や暗い画像を入力してオートセットアップを動作させると自動的に処理が中断されることがあります。このような場合は、別の画像に切り換えてからもう一度オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押すか、手動で上記の調整を行ってください。
- さらに好みの映像に調整する場合は、28ページ以降のメニュー操作で行います。

# リモコンの使いかた

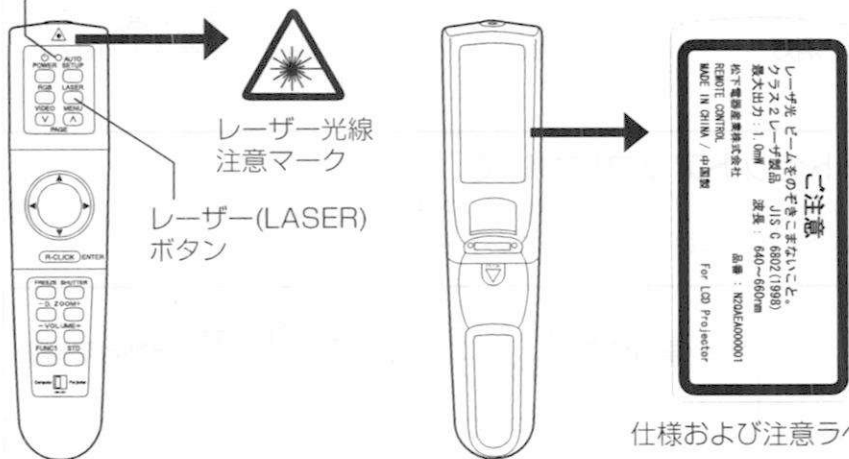
## レーザーポインター機能

リモコンから発射されるレーザー光をスクリーンに当てることによりポインターとして利用できます。

リモコンのレーザー(LASER)ボタンを押している間、リモコンからレーザー光が発射され操作表示ランプが点灯します。

リモコンのレーザー発射口をのぞきこんだり、レーザー光を人に向けて発射すると、視力低下などの原因になることがありますので、ご注意ください。

操作表示ランプ



仕様および注意ラベル

レーザー光 ビームをのぞき込まないこと。  
クラス2 レーザー製品 JIS C 6802(1998)  
最大出力: 1.0mW 波長: 640~660nm

レーザー光をのぞき込まないこと  
レーザー光を人に向けてないこと  
子供に使わせないこと  
製造者: INTERLINK ELECTRONICS



## ⚠ 注意

■ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被爆をもたらします。

## ワイヤレスマウス機能

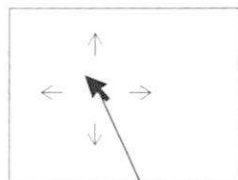
別売のワイヤレスマウスレシーバー(TW-RMRC1)をパソコンに接続することにより、本機に同梱しているワイヤレスリモコンでパソコンを操作することができます。別売のワイヤレスマウスレシーバーを従来のマウスと同じように、別売のワイヤレスマウスレシーバーのケーブルを使い、お客様のパソコンのUSBポートかPS/2マウスポートまたはADBポートに接続します。(接続方法や対応するパソコンは、ワイヤレスマウスレシーバーに同梱の取扱説明書をご覧ください。)

## 操作

ワイヤレスマウス機能を使う場合は、操作モード切り換え(Computer、Projector)スイッチをパソコン(Computer)側に切り換えてください。

### ▲▼◀▶ボタン

親指で軽く押さえながら上下左右に動かすと、画面のマウスカーソルも上下左右に動きます。軽く押せばゆっくりと、強く押せば速くカーソルが動きます。



マウスカーソル

### クリックボタン

リモコン裏面のクリックボタンは、マウスのボタン(ボタンが2つあるマウスの場合は左ボタン)の代わりとして使用できます。

### エンター(ENTER、R-CLICK)ボタン

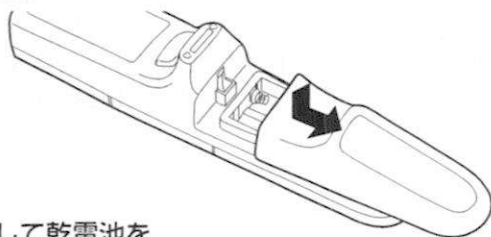
リモコン前面のエンター(ENTER、R-CLICK)ボタンは、ボタンが2つあるマウスの右ボタンの代わりとして使用できます。

### ページ(PAGE)ボタン

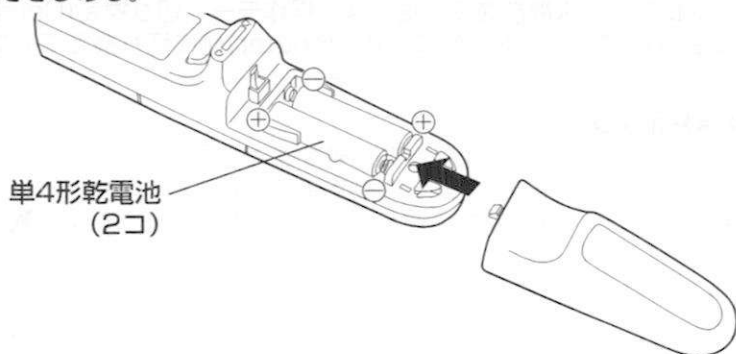
キーボードのカーソル上下ボタンの代わりとして使用できます。(別売のワイヤレスマウスレシーバーTW-RMRC1をパソコンにUSBで接続している場合のみ使用できます。)

## 乾電池の入れかた

①ふたをあける。



②極性に注意して乾電池を入れ、ふたをしめる。



### お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- 長時間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 充電式電池は使用しないでください。

### 操作範囲

リモコンを直接、本機の前面/後面のリモコン受光部に向けて操作する場合は、受光部正面より約7 m以内でご使用ください。また、左右±30度・上下±15度まで操作可能です。

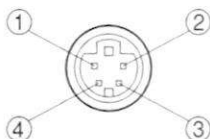
### お知らせ

- リモコンと受光部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコン受光部に蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンが誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。
- スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限がでる場合があります。

# 接続する

## 接続の前に

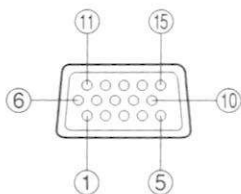
- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画面が乱れることがあります。この場合はタイムベースコレクター(TBC)の接続が必要です。
- 本機はスピーカーを内蔵していますが、大きな音量を必要とする場合は音声出力(AUDIO OUT)端子にオーディオ機器の接続が必要です。ただし、音声出力(AUDIO OUT)端子を使用されると、内蔵スピーカーからは音声が出ません。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。  
56ページの対応信号リストをご覧ください。
- Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピンNo.	信号
①	アース(輝度信号)
②	アース(色信号)
③	輝度信号
④	色信号

- RGB入力(RGB1 IN/RGB2 IN)端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

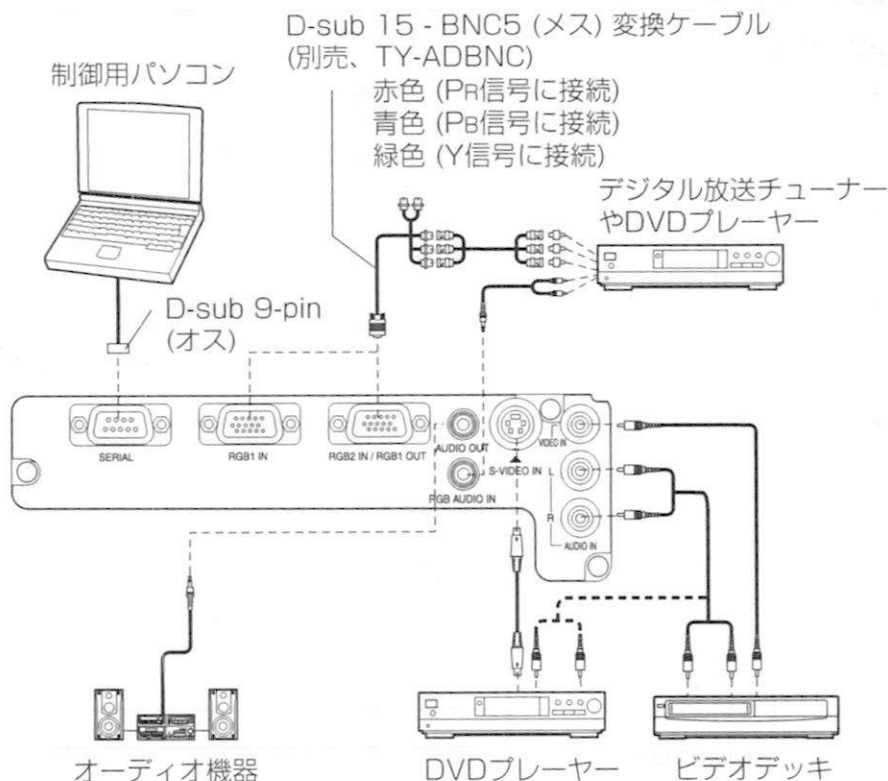
ピンNo.	信号
①	R/P <sub>R</sub>
②	G/G・SYNC/Y
③	B/P <sub>B</sub>
⑫	SDA
⑬	HD/SYNC
⑭	VD
⑮	SCL

⑨は未使用

④～⑧、⑩、⑪はGND端子です。

⑫、⑮はパソコン側に機能があれば有効です。

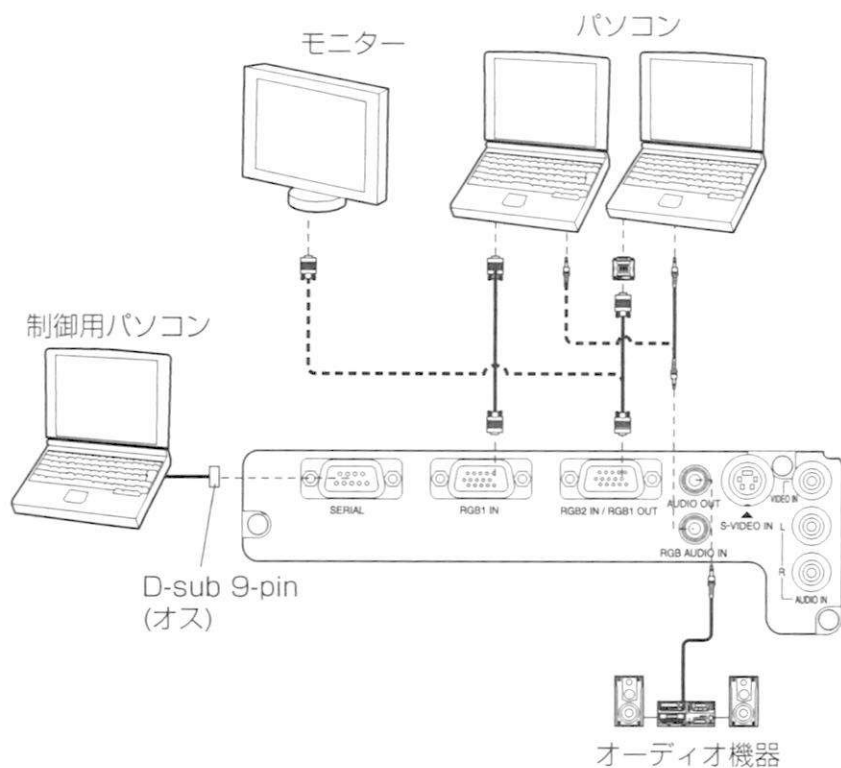
## AV機器との接続例



### お知らせ

- ビデオ/Sビデオ用音声入力(AUDIO IN L-R)端子は1系統しかないので、使用される信号に合わせ差し換えが必要になります。
- RGB音声入力(RGB AUDIO IN)端子は1系統しかないので、使用される信号に合わせ差し換えが必要になります。
- 音声出力(AUDIO OUT)端子にオーディオ機器を接続しているときは、本機に付属のリモコンで音量を調整することができます。
- BNC接栓付きケーブルでビデオ信号を接続する場合は、BNC-ピン変換アダプター(市販品)でピンジャックに変換してご使用ください。
- 本機に接続できるYPbPr信号は、56ページの対応信号リストを参照ください。
- デジタルズーム、インデックスダブル中に、信号ケーブルを抜いたり、パソコンやビデオデッキの電源を切ると、それぞれの機能が解除されます。

## パソコンとの接続例



準備


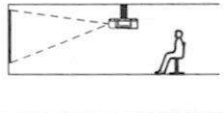
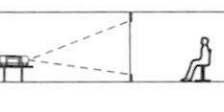
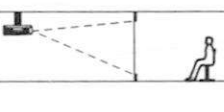
### お知らせ

- 本機の主電源を切る前には、パソコンの電源を切ってください。
- 本機に接続できるパソコンからのRGB信号は、56ページの対応信号リストを参照ください。
- 「オプション1」メニューの「RGB2入出力選択」を「出力」に設定しているときは、RGB2入力/RGB1出力(RGB2 IN/RGB1 OUT)端子に信号を入力しないでください。(40ページ参照)

# 設置する

## 投写方式

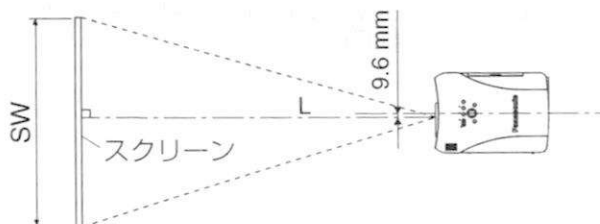
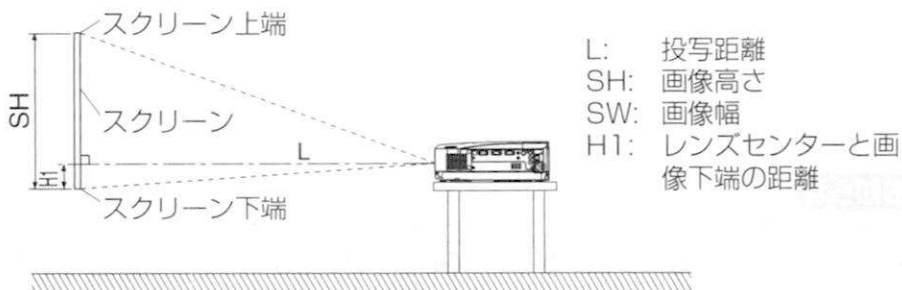
本機は、下図の4通りの投写方式が可能です。設置場所に応じた投写方式を選択してください。(投写方式の設定はオプション2メニューで行うことができます。41ページをご覧ください。)

		投写方式2	
		フロア	シーリング
投写方式1	フロント	 (工場出荷状態)	
	リア		

### お知らせ

- 天つり(シーリング)設置には、別売りの天つり金具(TY-PK730)が必要です。

## 投写関係





## 投写距離

画面サイズ(4:3)			投写距離(L)		高さ位置 (H1)
対角(型)	高さ(SH)	幅(SW)	ワイド (LW)	テレ (LT)	
40	0.61 m	0.81 m	1.2 m	1.5 m	0.06 m
50	0.76 m	1.02 m	1.6 m	1.9 m	0.08 m
60	0.91 m	1.22 m	1.9 m	2.3 m	0.09 m
70	1.07 m	1.42 m	2.2 m	2.7 m	0.11 m
80	1.22 m	1.63 m	2.5 m	3.1 m	0.12 m
90	1.37 m	1.83 m	2.8 m	3.5 m	0.14 m
100	1.52 m	2.03 m	3.1 m	3.9 m	0.15 m
150	2.29 m	3.05 m	4.7 m	5.8 m	0.23 m
200	3.05 m	4.06 m	6.2 m	7.8 m	0.31 m
250	3.81 m	5.08 m	7.8 m	9.8 m	0.38 m
300	4.57 m	6.10 m	9.4 m	11.8 m	0.46 m

上記の表以外の投写寸法は下記の計算式で求めることができます。  
画面サイズ(対角)をSD(型)とすると、ワイド時の投写距離(LW)、テレ時の投写距離(LT)を下記の計算式で求めることができます。

$$LW=0.031 \times SD-0.068$$

$$LT=0.0393 \times SD-0.066$$

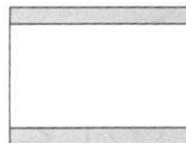
16:9の場合は、下記の計算式で投写距離を求めることができます。

$$LW=0.034 \times SD-0.068$$

$$LT=0.043 \times SD-0.066$$

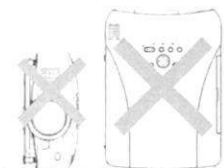
### お知らせ

- 上記の表の寸法や計算式で求められる値は若干の誤差があります。
- 16:9の投写距離で設置した場合は、スクリーンに対して4:3の投写映像が上下にはみ出します。



### お願い

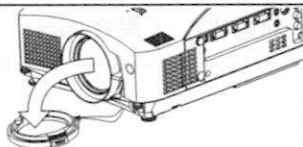
- 本機を立てて使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機を傾ける場合は、±30度以内の設置をおすすめします。本機を±30度以上傾けた状態で使用されると部品の寿命等に影響を及ぼす恐れがあります。



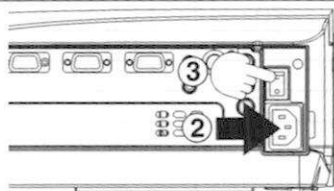
# 投写する

電源を入れる前に準備(21～25ページ)を完了させてください。

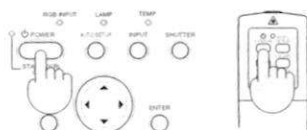
- ① レンズカバーをはずす。



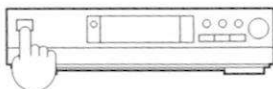
- ② 付属の電源コードを接続する。  
③ 主電源(MAIN POWER)スイッチの「|」側を押して電源を入れる。  
本体の電源モニターが赤色に点灯します。



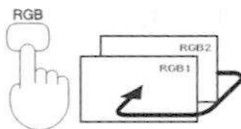
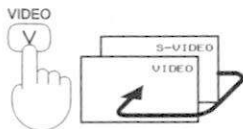
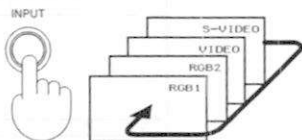
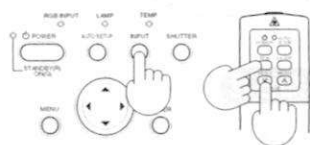
- ④ 電源(POWER)ボタンを押す。  
本体の電源モニターが緑色に点滅します。しばらくすると、緑色に点灯し映像が投写されます。



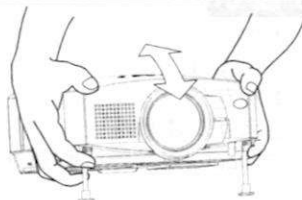
- ⑤ 接続機器の電源を入れる。  
DVDプレーヤー等は再生操作を行ってください。



- ⑥ 入力切り換え(INPUT、RGB、VIDEO)ボタンを押して入力信号を選択する。  
入力切り換え(INPUT、RGB、VIDEO)ボタンを押すと下図のように入力信号が切り換わります。



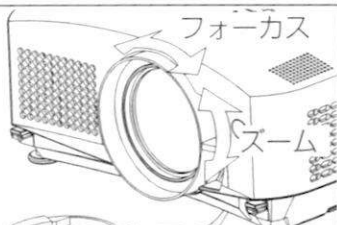
- ⑦ アジャスターボタンを押しながら本機の前後の傾きを調整する。



- ⑧ オートセットアップ(AUTO SETUP) ボタンを押して、自動位置補正を実行する。  
台形歪が最適に補正されない場合は、33ページに記載の台形歪補正を行ってください。



- ⑨ フォーカスリング・ズーム調整つまみを回して画像のピントを合わせたり、投写画像サイズを調整する。



## 電源の切りかた

- ① 電源(POWER)ボタンを押す。

- ② ◀▶ ボタンで「実行」を選び、  
エンター(ENTER)ボタンを押す。



ランプが消え映像の投写を停止します。(本体の電源モニターがオレンジ色に点灯します。投写は停止しますが、冷却ファンは回転しています。)

- ③ 本体の電源モニターが赤色に点灯する(冷却ファンが停止する)まで待つ。  
冷却ファンが回転している間は絶対に主電源(MAIN POWER)スイッチを切ったり、電源コードを抜いたり、テーブルタップの電源スイッチを落としたりしないでください。

- ④ 主電源(MAIN POWER)スイッチの「○」側を押して電源を切る。

### お知らせ

- 電源を切ったあとの光源ランプ冷却中に電源を入れると、すぐには点灯せず、しばらくたってから自動的に点灯します。(この間は、本体の電源(POWER)ボタンがオレンジ色に点滅します。)
- 本機はスタンバイ状態で冷却ファンが停止(本体の電源モニターが赤色に点灯)した状態でも約1.5 Wの電力を消費しています。
- 使用中に間違えて主電源を切った場合などは、電源を入れてもただちに光源ランプが点灯しないことがあります。この場合、しばらくたってから自動的に再点灯を行います。(この間は、本体の電源モニターが緑色に点滅します。)
- 光源ランプ点灯時に「チリチリ」という音がしますが、これは故障ではありません。
- 電源(POWER)ボタンを2回押しても電源を切ることができます。また、電源(POWER)ボタンを0.5秒以上押しても電源を切ることができます。

# オンスクリーンメニューについて

## メニュー画面一覧

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。本機のメニュー全体の構成は下図のとおりです。

### メインメニュー

メインメニュー	
台形補正	
映像	
ポジション	
インデックス ダブル	
シャッター	
音声	
言語	
オプション1	
オプション2	
選択	ENTER 実行

台形補正  
(33ページ)

インデックスダブル機能  
(43ページ)

シャッター機能  
(42ページ)

音量調整  
エンター(ENTER)ボタンを押し、◀または▶を押すと音量を調整できます。

### オプション2 (40ページ)

オプション2	
バックカラー	ブルー
投写方式1	フロント
投写方式2	フロア
FAN制御	標準
ランプパワー	高
ランプ時間	1.0時間
FUNC1設定	インデックス
操作キー	オン
選択	調整 MENU終了

### オプション1 (40ページ)

オプション1	
OSD表示	オン
自動台形補正	オン
自動RGB入力選択	オン
RGB2入出力選択	入力
RGB/Y・PB・PR	Y・PB・PR
SXGAモード	SXGA
選択	調整 MENU終了

表示言語 (42ページ)

言語		日本語
ENGLISH		
DEUTSCH		
FRANÇAIS		
ESPAÑOL		
ITALIANO		
日本語		
中文		
選択	ENTER 実行	MENU 終了

## お知らせ

- ・ オンスクリーン画面に台形補正は機能しません。

## 映像

(34ページ)

RGB信号入力時

映像	
映像モード	◀ スタANDARD ▶
色温度設定	◀ 標準 ▶
黒レベル	3.2
ピクチャー	3.2
シャープネス	0
白バランスR	3.2
白バランスG	3.2
白バランスB	3.2
表示モード	SVGA
標準	
▲ 選択    ◀▶ 調整    MENU終了	

YPbPr信号入力時

映像	
映像モード	◀ スタANDARD ▶
色温度設定	◀ 標準 ▶
色の濃さ	3.2
色あい	3.2
黒レベル	3.2
ピクチャー	3.2
シャープネス	2
ノイズリダクション	1
表示モード	5251
標準	
▲ 選択    ◀▶ 調整    MENU終了	

## お知らせ

- ノイズリダクションは、TH-L720のみの機能です。
- 静止画モードは、TH-L520のみの機能です。

Sビデオ/ビデオ信号入力時

映像	
映像モード	◀ スタANDARD ▶
色温度設定	◀ 標準 ▶
色の濃さ	3.2
色あい	3.2
黒レベル	3.2
ピクチャー	3.2
シャープネス	2
ノイズリダクション	1
TVシステム	◀ AUTO1 ▶
静止画モード	◀ オフ ▶
標準	
▲ 選択    ◀▶ 調整    MENU終了	

## ポジション

(37ページ)

RGB/YPbPr信号入力時

ポジション	
水平位置	6.4
垂直位置	3.2
ドットクロック	3.2
クロックフェーズ	1.6
アスペクト	◀ 4:3 ▶
リサイジング	◀ オン ▶
標準	
▲ 選択    ENTER実行    MENU終了	

Sビデオ/ビデオ信号入力時

ポジション	
水平位置	3.2
垂直位置	1.6
アスペクト	◀ 4:3 ▶
リサイジング	◀ オン ▶
標準	
▲ 選択    ENTER実行    MENU終了	

## メニュー画面の操作方法

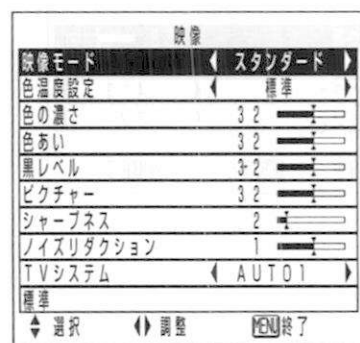
- ① メニュー(MENU)ボタンを押す。  
メインメニュー画面を表示します。



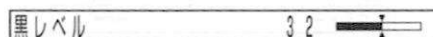
- ② ▲または▼ボタンを押して項目を選ぶ。  
選択中の項目は青色で表示します。



- ③ エンター(ENTER)ボタンを押して決定する。  
選択したメニューや調整画面が表示されます。(例：映像の調整)



- ④ ▲または▼ボタンを押して項目を選び、◀または▶を押して設定の切り換えや調整を行う。  
バースケールの項目は、下図のような個別調整画面が表示されます。



調整値が工場出荷状態以外になるとバースケールが緑色になります。

## 表示されないオンスクリーン項目について

本機には入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、オンスクリーンの項目が表示されず、エンター(ENTER)ボタンを押しても実行できません。

## 前の画面に戻す

メニュー画面が表示されている状態でメニュー(MENU)ボタンを押すと前の画面に戻ります。  
メインメニューが表示されている状態でメニュー(MENU)ボタンを押すと、メニュー画面が消えます。

## 調整値を工場出荷設定に戻す

リモコンのスタンダード(STD)ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。ただし、表示されている画面によって動作が異なります。

- メニュー画面表示時

	映像	標準
映像モード	◀ スタンダード ▶	
色温度設定	◀ 標準 ▶	
色の濃さ	32	▬
色あい	32	▬
黒レベル	32	▬
ピクチャー	32	▬
シャープネス	2	▬
ノイズリダクション	1	▬
TVシステム	◀ AUTO1 ▶	
標準		
▼ 選択	ENTER 実行	RETURN 終了

表示されている項目がすべて工場出荷時の状態に戻り、メニューの右上に「標準」と表示され、バースケールが白色表示になります。

### お知らせ

- ▲▼ボタンで「標準」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押しても同じです。

- 個別調整画面表示時



調整中の項目のみ工場出荷時の状態に戻り、バースケールが白色で表示されます。

### お知らせ

- バースケールの上下の三角マークは、工場出荷状態を示しています。三角マークが無い項目は、工場出荷状態に戻せません。

工場出荷時の標準値を示しています。

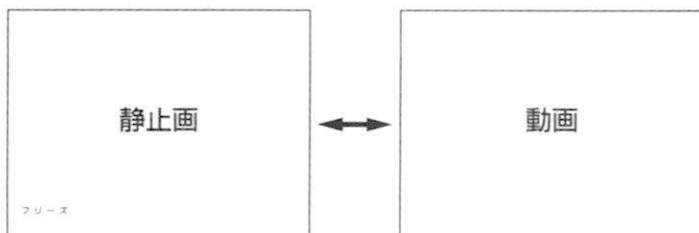


現在の調整値を示しています。

- 三角マークは、入力される信号によって位置が異なります。

## フリーズ機能を使う

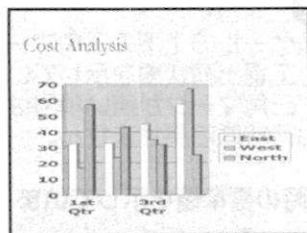
リモコンのフリーズ(FREEZE)ボタンを押すごとに静止画と動画を切り換えます。



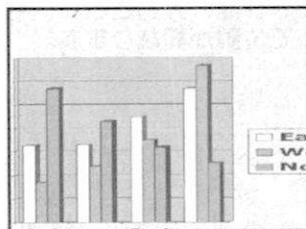
# デジタルズーム機能を使う

映像を拡大することができます。

- ① デジタルズーム(D.ZOOM +/-) ボタンを押す。



映像の中心を1.5倍で拡大した画面になります。



- ② ▲▼◀▶ ボタンで拡大したい部分へ移動させる。
- ③ デジタルズーム(D.ZOOM +/-) ボタンで倍率を変える。  
倍率は1.0倍から2.0倍まで0.1ごとに調整できます。

## お知らせ

- RGB信号入力時は、1.0倍から3.0倍まで調整できます。

- ④ メニュー(MENU) ボタンを押し、元の画面に戻す。

## お願い


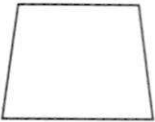
- リモコンを使わなければ、この機能を利用することができません。
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズーム機能が解除されます。



# 台形歪を補正する

本機のオートセットアップ機能を使用すれば自動的に台形歪も補正されますが、スクリーンが傾いている場合には正しく補正されません。このような場合は、下記の手順で台形歪を補正してください。

- ① メインメニューの「台形補正」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押す。
- ② ◀▶ ボタンを押して台形歪を補正する。

画像の状態	操作
	▶ ボタンを押す
	◀ ボタンを押す

- ③ メニュー(MENU)ボタンを押し、元の画面に戻す。

## お願い

- 調整後、オートセットアップボタンを押すと、自動台形歪補正が機能し補正が正しくない状態に戻ります。このような場合は、「オプション1」メニューの「自動台形補正」を「オフ」に設定してください。

## お知らせ

- 台形歪は、本機の前後の傾きに対して±30度まで補正できますが、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。なるべく、よい画質で投写したい場合はできるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- 台形補正を行うと画像サイズも変化します。

# 映像を調整する

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換えます。

バースケールのある項目については、エンター(ENTER)または◀▶ボタンを押して調整画面を表示させてから◀▶ボタンで調整してください。

## RGB信号入力時

映像	
映像モード	◀ スタンダード ▶
色温度設定	◀ 標準 ▶
黒レベル	3 2
ピクチャー	3 2
シャープネス	0
白バランスR	3 2
白バランスG	3 2
白バランスB	3 2
表示モード	SVGA
標準	
◀ 選択 ▶ 調整	MENU 終了

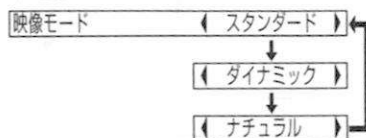
## YPbPr信号入力時

映像	
映像モード	◀ スタンダード ▶
色温度設定	◀ 標準 ▶
色の濃さ	3 2
色あい	3 2
黒レベル	3 2
ピクチャー	3 2
シャープネス	2
ノイズリダクション	1
表示モード	5 2 5 1
標準	
◀ 選択 ▶ 調整	MENU 終了

## Sビデオ/ビデオ信号入力時

映像	
映像モード	◀ スタンダード ▶
色温度設定	◀ 標準 ▶
色の濃さ	3 2
色あい	3 2
黒レベル	3 2
ピクチャー	3 2
シャープネス	2
ノイズリダクション	1
TVシステム	◀ AUTO1 ▶
静止画モード	◀ オフ ▶
標準	
◀ 選択 ▶ 調整	MENU 終了

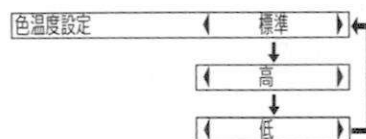
## 映像モード



映像ソースや部屋の環境に合わせて見やすい映像に切り換えることができます。

暗い部屋で使用する場合は「ナチュラル」に、標準的な明るさで使用する場合は「スタンダード」に、明るい場所で使用される場合は「ダイナミック」に設定してください。

## 色温度設定



映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えてください。

## 色の濃さ

(Sビデオ/ビデオ/YPbPrのみ)  
色が濃い場合は◀ボタンを、うすい場合は▶ボタンを押してください。

## 色あい

(NTSC/NTSC4.43/YPbPrのみ)  
肌色の部分を調整します。緑色がかかった色の場合は◀ボタンを、赤紫色がかかった色の場合は▶ボタンを押してください。

## 黒レベル

画面の暗い部分(黒色)を調整します。黒がつぶれている場合(髪の毛などが見えにくい)は▶ボタンを、黒が浮いている(黒が白っぽい)場合は◀ボタンを押してください。

## ピクチャー

色の明暗度を調整します。明るい場合は◀ボタンを、暗い場合は▶ボタンを押してください。(黒レベルを先に調整してください。)

## シャープネス

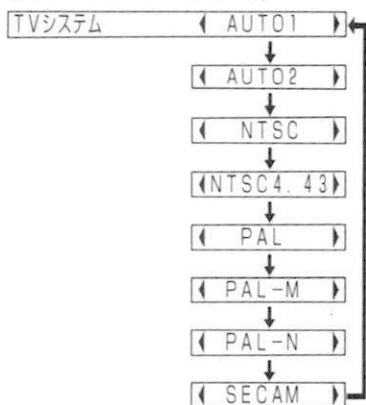
映像をはっきりきわだたせる場合は▶ボタンを、やわらかい感じにするには◀ボタンを押してください。

## ノイズリダクション(NR)

(TH-L720にSビデオ/ビデオ/YPbPrを入力時のみ)  
入力された信号が劣化しているため映像にノイズが発生している場合にノイズを抑える調整ができます。(750p(720p)、HDTV60(1080i/60)、HDTV50(1080i/50)の信号は除く)  
ノイズリダクションの効果を強くする場合は、▶ボタンを押してください。ノイズリダクションをオフにしたい場合は、◀ボタンを押して「0」に設定してください。

## TVシステム

(Sビデオ/ビデオのみ)



「AUTO1」 NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL60/SECAMの中から自動的に判別します。

「AUTO2」 NTSC/PAL-M/PAL-Nの中から自動的に判別します。

通常は「AUTO1」または「AUTO2」に設定します。信号が劣化しているために正常に映らない場合はそれぞれのTVシステムに設定を変えてください。

## 静止画モード

(TH-L520にSビデオ/ビデオを入力時のみ)  
静止画のちらつき(垂直方向のゆれ)をおさえたい場合に◀▶ボタンで「オン」に設定してください。

## お願い

- 動画をご覧になる場合は「オン」に設定しないでください。

## 白バランスR/G/B

(RGBのみ)

映像の白色部分に色がついているような場合に調整します。

◀ボタンを押すと選択した色が弱くなり、▶ボタンを押すと選択した色が強くなります。

## 表示モード

(RGB/YPbPrのみ)

現在投写している信号名を表示します。信号の詳細については56ページの表をご覧ください。

## sRGBに対応した映像にするには

sRGBとは、IEC(International Electrotechnical Commission)で定められた色再現国際規格(IEC61966-2-1)です。sRGBに対応した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行ってください。

- ① ▲▼ボタンを押し「映像モード」を選択し、◀▶ボタンで「ナチュラル」に設定する。
- ② リモコンのスタンダード(STD)ボタンを押す。
- ③ ▲▼ボタンを押し「色温度設定」を選択し、◀▶ボタンで「標準」に設定する。

### お知らせ

- RGB信号入力時のみ、sRGBに対応します。(ランプパワー「高」設定時)

# ポジションを調整する

パソコンなどのRGB信号入力時は、まずオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押し、自動位置補正を行ってください。自動位置補正を行っても最適な設定にならない場合は、以下の調整を行ってください。

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンで設定を切り換えます。

バースケールのある項目については、エンター(ENTER)または◀▶ボタンを押して調整画面を表示させてから◀▶ボタンで調整してください。

## RGB/YPbPr信号入力時

ポジション	
水平位置	64
垂直位置	32
ドットクロック	32
クロックフェーズ	16
アスペクト	4:3
リサイジング	オン
標準	
◀ 選択	ENTER 実行
	MENU 終了

## Sビデオ/ビデオ信号入力時

ポジション	
水平位置	32
垂直位置	16
アスペクト	4:3
リサイジング	オン
標準	
◀ 選択	ENTER 実行
	MENU 終了

## 水平位置

◀ボタンを押せば左に、▶ボタンを押せば右に映像が移動します。

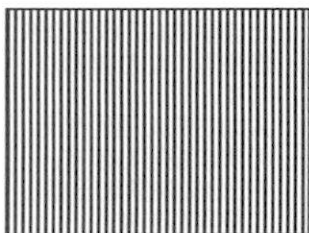
## 垂直位置

◀ボタンを押せば下に、▶ボタンを押せば上に映像が移動します。

## ドットクロック

(RGBのみ)

下記のような縞模様を投写した場合には、周期的な縞模様(ノイズ)が発生する場合があります。この場合に◀▶ボタンでもっともノイズが少なくなるように調整してください。



## クロックフェーズ

(RGB/YPbPrのみ)

「ドットクロック」を調整した後に、この調整を行ってください。◀▶ボタンでもっともノイズが目立たなくなるように調整してください。

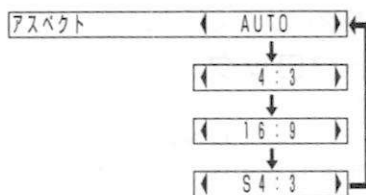
## お知らせ

- ドットクロック周波数が100 MHz以上の信号を投写時は、「ドットクロック」や「クロックフェーズ」を調整してもノイズがなくなる場合があります。

## アスペクト

ビデオ/Sビデオ信号時

YPbPr信号時 (525i(480i)、  
525p(480p)、625i信号のみ)



「AUTO」

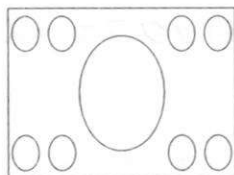
(Sビデオのみ)  
Sビデオ端子にS1映  
像信号が入力される  
と自動的に16:9の映  
像投写に切り換わり  
ます。

「4:3」

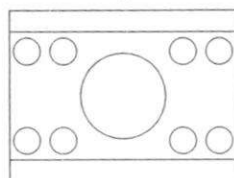
入力された信号をそ  
のまま投写します。

「16:9」

16:9に映像を圧縮し  
て投写します。



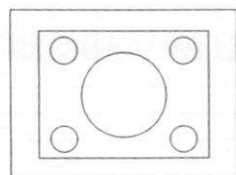
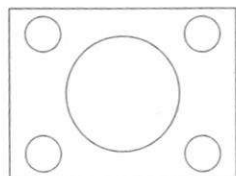
入力信号がスクイ  
ーズ(横方向に圧縮され  
た)信号の場合



「S4:3」

入力された信号のサ  
イズを75%に圧縮し  
て投写します。(16:9  
スクリーンに4:3映像  
を投写する場合に有  
効です。)

入力信号が4:3信号の  
場合



### S1映像信号とは

- S1映像信号とは、ワイド対応ビ  
デオデッキなどから出力される  
検知信号が付加されている16:9  
の映像信号です。
- 上記の設定を「AUTO」にして  
いれば、本機は検知信号を検出  
し、自動的に16:9に変換して映  
像を投写します。

## お願い

- 本機はアスペクト比切り換え機能を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されますと、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、アスペクト比をお選びください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像ではない従来(通常)の4:3の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、4:3の映像でご覧ください。

## リサイジング

通常は「オン」に設定してください。  
(液晶パネルよりも画素数が少ない信号のみ。詳細は56ページ参照)

- 「オン」 入力信号の画素数を液晶パネルの画素数に変換して表示します。画素数の少ない信号でも足りない画素を自動的に補って投写します。映像によっては見えづらくなる場合があります。
- 「オフ」 画素変換を行わず、映像信号の画素数をそのまま投写します。映像が小さく投写されますので、ズームを調整するか設置位置を前後させて調整してください。  
また、デジタルズームや台形歪調整、インデックスダブル機能などができなくなります。

# オプション設定

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで項目を選択し、◀▶ボタンを押して設定を切り換えてください。

オプション1		
OSD表示	◀	オン ▶
自動台形補正	◀	オン ▶
自動RGB入力選択	◀	オン ▶
RGB2入出力選択	◀	入力 ▶
RGB/Y・PB・PR	◀	Y・PB・PR ▶
SXGAモード	◀	SXGA ▶
⇄ 選択	↔ 調整	END終了

オプション2		
バックカラー	◀	ブルー ▶
投写方式1	◀	フロント ▶
投写方式2	◀	フロア ▶
FAN制御	◀	標準 ▶
ランプパワー	◀	高 ▶
ランプ時間		10時間
FUNC1設定	◀	インデックス ▶
操作キー	◀	オン ▶
⇄ 選択	↔ 調整	END終了

## OSD表示

「オン」 入力信号切り換え時に入力名を画面右上に表示します。

「オフ」 入力名を表示させたくない場合に設定してください。

## 自動台形補正

通常は「オン」に設定してください。

「オン」 オートセットアップ時に、本機の傾きを検出し自動的に台形歪を補正します。

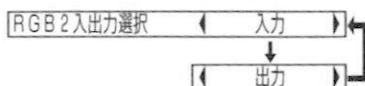
「オフ」 スクリーンが傾いている場合など、オートセットアップ時に自動台形補正をさせたくない場合に設定してください。

## 自動RGB入力選択

通常は「オン」に設定してください。

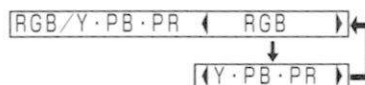
「オン」 オートセットアップ時にRGB1または2端子のうち信号が入力されている端子を自動的に選択し、投写します。(映像が投写されていれば自動切り換えは行われません。) オートセットアップ時に、自動的に入力切り換えをさせたくない場合に設定します。

## RGB2入出力選択



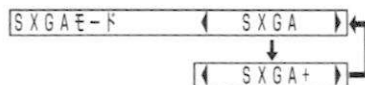
RGB2入力/RGB1出力(RGB2 IN/RGB1 OUT)端子で信号を入力するか、出力するかを切り換えます。

## RGB/Y・PB・PR



HDTV信号、525p(480p)信号、一部のVGA480信号を入力した場合に設定できます。入力する信号に合わせて設定してください。

## SXGAモード



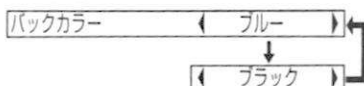
SXGA (RGB) 信号を入力したときのみ有効になります。

「SXGA」 通常この設定にしてください。

「SXGA+」 画面が切れている場合に設定してください。

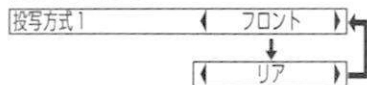


## バックカラー



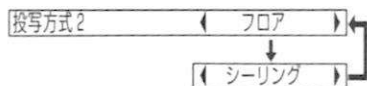
本機に信号が入力されていない時のバック画面の色を設定します。

## 投写方式 1



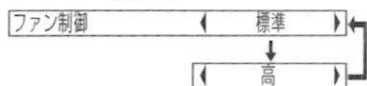
本機の設置方法によって切り換えます。通常、反射式スクリーンを使用してスクリーンの前方に本機を設置する場合は「フロント」に、透過式スクリーンを使用してスクリーンの後方に本機を設置する場合は「リア」に設定します。

## 投写方式 2



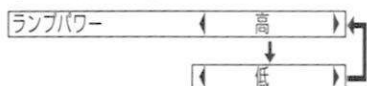
本機の設置方法によって切り換えます。通常、机の上などに設置して使用する場合は「フロア」に、別売りの天つり金具を利用して天井などに設置する場合は「シーリング」に設定します。

## ファン制御



海拔1400 m以上でのご使用の場合は、「高」に設定してください。

## ランプパワー



ランプの明るさを切り換えます。「低」に設定すると輝度が下がりますが電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命を延ばすことができます。狭い会議室など高い輝度を必要とし

ない場合は「低」に設定されることをおすすめします。

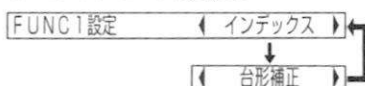
## ランプ時間

現在使用中のランプの使用時間を表示します。ランプユニットを交換するとリセットされて「0」になります。

## お知らせ

- ランプの寿命は使用条件(「ランプパワー」の設定や電源の入切の回数など)により変わります。

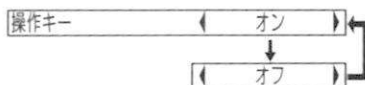
## FUNC1設定



リモコンのFUNC1ボタンの機能を設定します。

「インデックス」インデックスダブル機能と同じ働きになります。(43ページ)  
「台形補正」メインメニューの「台形補正」を選択するのと同じ働きになります。(33ページ)

## 操作キー



14ページの本体操作部にあるボタン機能を無効にすることができます。無効にしたい場合は、「オフ」に設定してください。有効に戻したい場合は、リモコン操作で「オン」に設定してください。

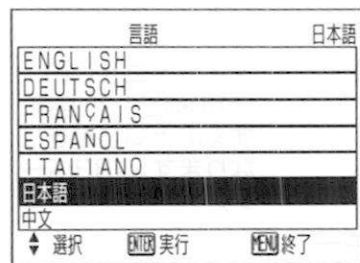
# シャッター機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消すことができる、消費電力が少ないシャッターモードにすることができます。

- ① リモコンまたは本体操作部のシャッター(SHUTTER)ボタンを押す。  
メインメニューの「シャッター」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押しても同じです。
- ② リモコンまたは本体操作部のいずれかのボタンを押せば元に戻ります。

# 表示言語を切り換える

本体操作部またはリモコンの▲▼ボタンで言語を選択し、エンター(ENTER)ボタンで決定してください。



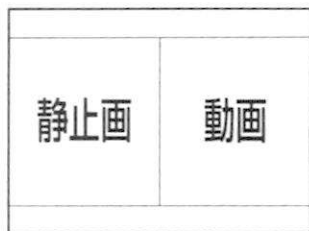
設定されている言語を表示します。

# インデックスダブル機能を使う

投写中の画像をメモリーに記録し、静止画像と動画の2画面表示にすることができます。

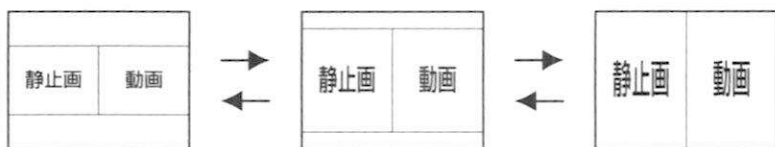
インデックスダブル機能を使う場合は、「オプション2」メニューの「FUNC1設定」を「インデックス」に設定してください。(41ページ参照)

- ① リモコンのファンクション1 (FUNC1) ボタンを押す。  
メインメニューの「インデックスダブル」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押しても同じです。



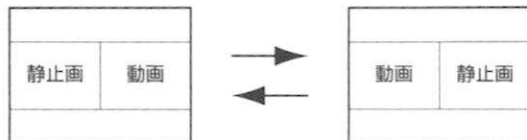
## お知らせ

- 画面のアスペクト比が変わり、画像が通常より縦長になります。
- ② ▲▼ボタンで画面サイズを設定する。  
画面サイズを切り換えると映像のアスペクト比が変わります。



## お願い

- 39ページの「アスペクト」のお願いを十分理解した上でご使用ください。
- ③ ◀▶ ボタンを押して静止画と動画の位置を切り換える。



- ④ 動画画面から静止画にしたい所でエンター(ENTER)ボタンを押す。  
エンターボタンを押したときの画面が静止画になります。

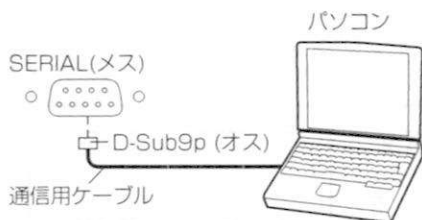
## お知らせ

- 前述の手順②、③を行うとメモリーがリセットされ画像が改めてメモリーに記録されます。
- インデックスダブル中に入力信号の種類が変わると、インデックスダブル機能が解除されます。

# シリアル端子

本機側面端子部のシリアル(SERIAL)端子はRS-232C準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

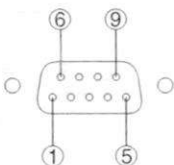
## 接続



### お願い

- シリアル(SERIAL)端子とパソコンをつなぐ通信用ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

## ピン配列と信号名



D-Sub 9p (外側から見た図)

ピン NO.	信号名	内容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		NC
⑤	GND	グランド
⑥	DSR	内部で接続されています
⑦	CTS	
⑧	RTS	
⑨		NC

## 通信条件

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティ	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

## 基本フォーマット

パソコンからの伝送はSTXで開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後にETXの順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。

STX	コマンド	:	パラメーター	ETX
スタート (02h)	3 byte		1 byte 1 byte-5 byte	エンド (03h)

### お願い

- ランプ点灯開始後、約10秒間はコマンドを受信できませんので、必ず10秒以上経過してから送信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン(:)は必要ありません。

### お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から"ER401"というコマンドがパソコン側に送信されます。

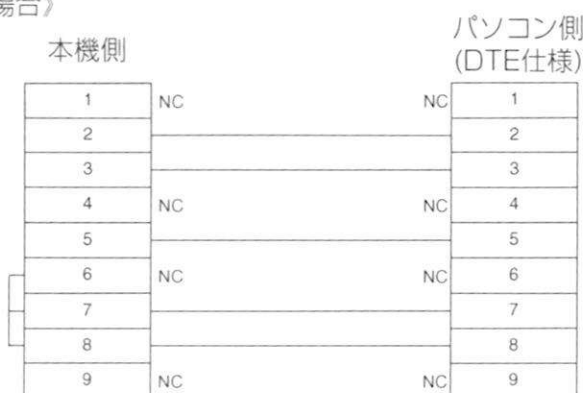
## 制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。</li> <li>ランプ消灯後、冷却ファン動作中に「PON」コマンドを送信した場合、ランプの保護のため、消灯後約40秒経過しないと点灯制御を開始しません。</li> </ul>
POF	電源「切」	
AVL	音量	パラメーター 000(調整値0)~063(調整値63)
IIS	入力切り換え	パラメーター VID=VIDEO RG1=RGB1 SVD=S-VIDEO RG2=RGB2
Q\$\$S	ランプ点灯状態 問い合わせ	コールバック 0=スタンバイ 1=ランプ点灯制御中 2=ランプ点灯 3=ランプ消灯制御中

## ケーブル仕様

《パソコンと接続する場合》



応用

# モニターランプについて

本機には内部の状態を知らせる温度(TEMP)とランプ(LAMP)のモニターランプがついています。本機内部に異常が発生すると点灯や点滅でお知らせしますので、電源を切り、次の処置をしてください。

温度(TEMP)モニター			
点灯状況	赤色点灯 (映像投写中)	赤色点滅 (映像投写中)	赤色点滅 (スタンバイ状態)
現象	周囲温度または内部が高温になっている。	内部が異常に高温になっている、または急激な温度変化が生じている。	周囲温度または内部が異常に高温なため、ランプユニットが自動的に消灯した。
ここをお調べください	<ul style="list-style-type: none"> <li>通風孔がふさがれていませんか。</li> <li>気温の高いところで使用していませんか。</li> <li>エアフィルターがめづまりしていませんか。</li> </ul>		
処置のしかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。</li> <li>周囲温度0℃～40℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。[41ページの「ファン制御」を「高」に設定している場合は、周囲温度0℃～35℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。]</li> <li>27ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、エアフィルターの清掃(48ページ参照)を行ってください。</li> </ul>		

ランプ(LAMP)モニター			
点灯状況	赤色点灯	赤色点滅	
現象	ランプユニットの交換時期を知らせている。	ランプ回路の異常を検知している	
ここをお調べください	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の電源を入れた時に「ランプ交換」というオンスクリーン表示がされていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を切ってからすぐに電源を入れなおしていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランプ回路に異常が発生していません。</li> </ul>
処置のしかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>ランプユニットの使用時間が1800時間(ランプパワー「高」設定時)に達すると点灯します。ランプユニットの交換を行ってください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>27ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、販売店にご相談ください。</li> </ul>

### お願い

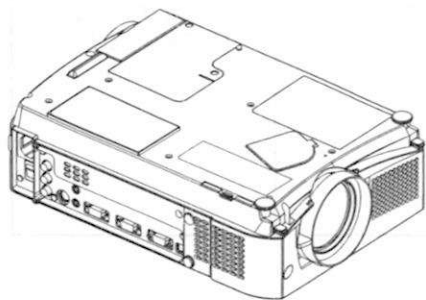
- 温度(TEMP)モニター、ランプ(LAMP)モニターの表示により処置を行うときの電源操作は27ページの「電源の切りかた」の手順を必ずお守りください。
- 温度(TEMP)モニター点滅後、主電源(MAIN POWER)スイッチが切れた場合は、内部に異常が発生しています。販売店に修理をご依頼ください。

# エアフィルターの清掃・交換

エアフィルターにほこりがたまり過ぎると、本機内部温度が高温になり、温度(TEMP)モニターが点滅し、電源が切れます。使用場所により異なりますがエアフィルター部の清掃は約100時間を目安に行ってください。

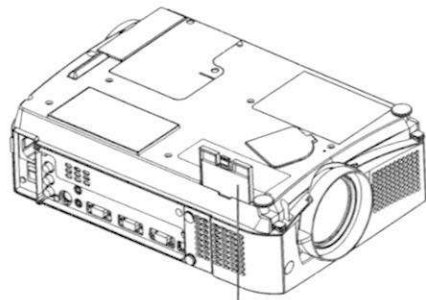
## 清掃手順

- ① 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。  
27ページの「電源の切りかた」の手順を守り、電源を切ってから電源プラグを抜いてください。
- ② 本機を静かに裏返す。



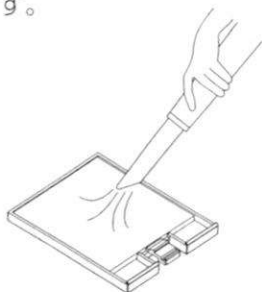
### お願い

- 本機に傷がつかないように、毛布などの上に裏返して置いてください。
- ③ エアフィルターを外す。  
エアフィルターにつめをかけて本機から引き出します。



エアフィルター

- ④ エアフィルターを掃除する。  
たまったほこりを掃除機で吸い取ります。



### お願い

- エアフィルターを吸い込まないようにご注意ください。
- ⑤ エアフィルターを取り付ける。

### お願い

- エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。エアフィルターを取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

### お知らせ

- 掃除をしてもほこりがとれなくなったらエアフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアフィルターも交換ください。



# ランプを交換する



## 警告

- ランプユニットの交換はランプが冷えてから(1時間以上待ってから)行う



カバー内部がかなり熱く、やけどの原因となります。

## ランプユニット交換上のお願い

- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、乱雑に取り扱っていると破裂する場合があります。蛍光灯と同様に処分してください。
- ランプユニットの交換にはバラストドライバーが必要です。ドライバー使用時は手をすべらせないようにご注意ください。

### お知らせ

- ランプユニットは別売り部品です。販売店にご相談ください。  
ランプユニット品番：ET-LA730(サービス部品扱い)
- 上記のランプ以外は使用しないでください。必ず指定のランプを使用してください。

## ランプユニットの交換時期



ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。

交換の目安は2000時間ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境等の影響を受けて、2000時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めのランプユニットの準備をお勧めします。

2000時間を過ぎると、ランプが破裂する可能性が高くなります。破裂防止のため、2000時間を過ぎると自動的に消灯します。

### お知らせ

- この説明に記載している使用時間は、「オプション2」メニューの「ランプパワー」を「高」に設定して使用された場合の時間です。「低」に設定して使用されますと、明るさが低下しますが、長くランプを使用することができます。
- 2000時間は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については、57ページや保証書をご覧ください。

	オンスクリーン表示	ランプ(LAMP)モニター
		
1800時間以降	30秒間表示されます。いずれかのボタンを押せば表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
2000時間以降	いずれかのボタンを押さない限り表示が消えません。	

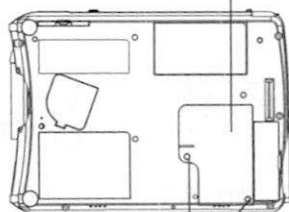
## ランプユニットの交換手順

### お願い

- ランプユニットの使用時間が2000時間(ランプパワー「高」設定時)を越えた場合は、電源を入れてから約10分間のみ本機を動作させることができます。手順⑦～⑪の操作を10分以内に行ってください。

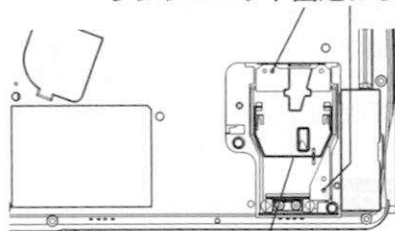
- 27ページの「電源の切りかた」の手順を守り、主電源(MAIN POWER)スイッチを切った後、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット周辺が冷えていることを確認する。
- 本機底面のランプユニット収納扉固定ねじ(2本)をプラスドライバーで回し、ランプユニット収納扉を本機から外す。
- ランプユニットを固定しているねじ(2本)をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプユニットのハンドルを持ち、ゆっくりと本機から引き出す。

ランプユニット収納扉



ランプユニット収納扉固定ねじ

ランプユニット固定ねじ



ハンドル

- ④ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込み、ランプユニット固定ねじをプラスドライバーでしっかりと締めつける。
- ⑤ ランプユニット収納扉を取り付け、ランプユニット収納扉固定ねじ(2本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける。

## お願い

- ランプユニットや、ランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプ収納扉の取り付けが不完全だと、保護回路が動作し電源が入りません。
- ⑥ 電源プラグをコンセントに差し込んで、主電源(MAIN POWER)スイッチを入れる。

## お願い

- 主電源(MAIN POWER)スイッチを「ON」にしても電源が入らない場合は、一度、主電源(MAIN POWER)スイッチを「OFF」にし、ランプユニットや収納扉の取り付けを確認後、再度「ON」にしてください。
- ⑦ 電源(POWER)ボタンを押し、映像投写を開始する。
- ⑧ メニュー(MENU)ボタンを押し、「メインメニュー」画面表示させ ▲▼ボタンでカーソルを「オプション2」の項へ移動する。

メインメニュー	
▶ 画面補正	
▶ 映像	
▶ ポジション	
▶ インデックス ダブル	
▶ シャッター	
▶ 音声	
▶ 言語	
▶ オプション1	
▶ <b>オプション2</b>	
▶ 選択	実行

- ⑨ エンター(ENTER)ボタンを押し、「オプション2」画面表示させ ▲▼ボタンで「ランプ時間」の項を選択する。

オプション2	
バックカラー	ブルー
投写方式1	◀ フロント ▶
投写方式2	◀ フロア ▶
ファン制御	◀ 標準 ▶
ランプパワー	◀ 高 ▶
ランプ時間	◀ 1020時間 ▶
FUNC1設定	◀ インデックス ▶
本体操作パネル	◀ オフ ▶
▶ 選択	MENU終了

- ⑩ エンター(ENTER)ボタンを約3秒間押し続ける。

オプション2	
バックカラー	ブルー
投写方式1	◀ フロント ▶
投写方式2	◀ フロア ▶
ファン制御	◀ 標準 ▶
ランプパワー	◀ 高 ▶
ランプタイムリセット[POWER OFF]	
FUNC1設定	◀ インデックス ▶
本体操作パネル	◀ オフ ▶
▶ 選択	MENU終了

「ランプ時間」が「ランプタイムリセット [POWER OFF]」の表示に変わります。

## お知らせ

- メニュー(MENU)ボタンを押せば、ランプタイムリセットの設定画面を解除します。
- ⑪ 電源を「切」にする。  
ランプ使用時間が「0」にリセットされます。  
電源の切りかたは27ページをご覧ください。

# 修理を依頼される前に

もう一度次の点をお調べください。

症状	ここをお調べください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。</li><li>主電源(MAIN POWER)スイッチが「切」になっていませんか。</li><li>コンセントに電源がきていますか。</li><li>温度(TEMP)またはランプ(LAMP)モニターが点灯または点滅していませんか。(46ページ参照)</li><li>ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。</li></ul>
映像がない	<ul style="list-style-type: none"><li>映像入力は正しく接続されていますか。</li><li>入力切り換えの設定が正しくなっていますか。(26ページ参照)</li><li>黒レベル調整が最小になっていませんか。(35ページ参照)</li><li>本機に接続している機器は正常に動作していますか。</li><li>シャッター機能を使用していませんか。(42ページ参照)</li></ul>
映像がボヤけている	<ul style="list-style-type: none"><li>レンズキャップがかぶさったままではありませんか。</li><li>レンズのフォーカスは合っていますか。(27ページ参照)</li><li>投写距離は適切ですか。(25ページ参照)</li><li>レンズが汚れていませんか。</li><li>本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。(24ページ参照)</li></ul>
色が薄い/色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"><li>色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。(34ページ参照)</li><li>本機に接続している機器は正しく調整されていますか。</li></ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"><li>音声入力は正しく接続されていますか。</li><li>音量調整が最小になっていませんか。(15、28ページ参照)</li><li>音声出力(AUDIO OUT)端子に、ケーブルが接続されていませんか。</li></ul>
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"><li>乾電池が消耗していませんか。</li><li>極性は正しくセットされていますか。(20ページ参照)</li><li>リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。(20ページ参照)</li><li>リモコン有効範囲をこえた場所でリモコンを操作していませんか。(20ページ参照)</li><li>蛍光灯などの影響を受けていませんか。(20ページ参照)</li></ul>
本体操作部のボタンが働かない	<ul style="list-style-type: none"><li>「操作キー」の設定が「オフ」になっていませんか。(41ページ参照)</li><li>「オフ」に設定したあとにリモコンを紛失した場合などには、本体操作部のエンター(ENTER)ボタンを押しながらメニュー(MENU)ボタンを2秒以上押せば設定を「オン」に戻すことができます。</li></ul>

症状	ここをお調べください
正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 信号方式(TVシステム)の選択は正しく行われていますか。(35ページ参照)</li> <li>• ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。</li> <li>• 本機が対応できない信号を入力していませんか。(56ページ参照)</li> </ul>
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ケーブルが長すぎませんか。</li> <li>• ノートパソコンの外部映像出力が、正しく設定されていますか。(「Fn」 + 「F3」あるいは「Fn」 + 「F10」 ボタンを同時に押すと、外部出力設定が切り替わる場合があります。パソコンの機種によって異なりますので、パソコンに付属の説明書をご覧ください。)</li> <li>• RGB入力モニター(14、17ページ参照)が消灯している場合は、パソコンから信号が出力されていないことが考えられます。</li> <li>• RGB2入力/RGB1出力(RGB2 IN/RGB1 OUT)端子に信号を入力されている場合に、「オプション1」メニューの「RGB2入出力選択」を「出力」にしていませんか。(40ページ参照)</li> </ul>

# 仕様

使用電源	AC 100 V 50 Hz/60 Hz
消費電力	300 W(リモコンスタンバイ時約1.5 W ただし、ファン停止時)
液晶パネル	
パネルサイズ	0.9 型(アスペクト比4:3)
表示方式	透過型液晶パネル3 枚 3 原色方式
駆動方式	アクティブマトリクス方式
画素数	
TH-L720:	786 432 画素(1 024×768 ドット) ×3 枚
TH-L520:	480 000 画素(800×600 ドット)×3 枚
レンズ	マニュアルズーム(1~1.3)・フォーカス レンズ F 1.7~2.2、f 28.7 mm~36 mm 220 W UHMランプ
光源ランプ	
光出力	
TH-L720:	2 200 lm(ANSI)
TH-L520:	2 000 lm(ANSI)
対応走査周波数 (RGB信号時)	内蔵データ(ポイントスキャン)方式

	TH-L720	TH-L520
水平走査周波数	31 kHz~91 kHz	31 kHz~70 kHz
垂直走査周波数	50 Hz~85 Hz	50 Hz~85 Hz
ドットクロック周波数	100 MHz未満	100 MHz未満

YPbPr信号	525i(480i)、625i、525p(480p)、 750p(720p)、HDTV60(1080i/60)、 HDTV50(1080i/50)
カラー方式	7方式(NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL- M/PAL-N/PAL60/SECAM)
投写画面サイズ	40 型~300 型
投写距離	1.2 m~11.8 m
光軸シフト量	9:1 (固定)
画面アスペクト比	4:3
投写方式	フロント/リア/天つり/床置き (メニュー 設定方式)
スピーカー	4.0 cm×3.0 cm だ円型 1 コ
音声実用最大出力	2 W(モノラル)
接続端子	
RGB/YPbPr入出力端子	2系統 高密度 D-sub 15p(メス) (1系統のみ入出力の切り換え可能)

YPbPr入出力時	
Y:	1.0 V [p-p](同期信号を含む) 75 Ω
PbPr:	0.7 V [p-p] 75 Ω
RGB入出力時	
R、G、B:	0.7 V [p-p] 75 Ω
G・SYNC:	1.0 V [p-p] 75 Ω
HD/SYNC:	TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応
VD:	TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応
RGB音声入力端子	1 系統 ステレオミニピンジャック
	0.5 V [rms]
ビデオ入力端子	1 系統 RCA ピンジャック
	1.0 V [p-p] 75 Ω
Sビデオ入力端子	1 系統 Mini DIN 4p
	Y 1.0 V [p-p] C 0.286 V [p-p] 75 Ω
ビデオ/Sビデオ用音声入力端子	1 系統 RCA ピンジャック×2(L-R)
	0.5 V [rms]
音声出力端子	1 系統 ステレオミニピンジャック (モニター出力、ステレオ対応可)
	0 V [rms]~1.0 V [rms](可変)
シリアル端子	D-sub 9p(メス)RS-232C準拠 パソコン制御用
電源コードの長さ	3.0 m
キャビネット	樹脂成型品(ABS/PC)
外形寸法	横幅 245 mm 高さ 118 mm 奥行 341 mm(レンズカバー未装着時)
質量	3.9 kg
使用環境条件	使用周囲温度 0℃~40℃(ただし、 41ページの「ファン制御」を「高」に設 定している場合は、0℃~35℃) 使用周囲湿度 20%~80%(結露のないこと)
<リモコン>	
使用電源	DC 3 V(単4形乾電池2コ)
操作距離	約7 m(受光部正面)
質量	108 g(乾電池含む)
外形寸法	横幅 33 mm 高さ 168 mm 厚さ 40 mm
<オプション>	
天つり金具	TY-PK730
ワイヤレスマウスレシーバー	TW-RMRC1
ワイドコンバージョンレンズ	TY-LEC701
※この液晶プロジェクターを使用できるのは、日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。	
(This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)	

# 付録

## 対応信号リスト

表示モード	解像度 (ドット)*1	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	画質*2		リサイジ ング*3		フォー マット
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		L720	L520	L720	L520	
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.734	59.940		A	A	OK	OK	Video/S-Video
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.625	50.000		A	A	OK	OK	Video/S-Video
525i	720 x 480i	15.734	59.940	13.500	A	A	OK	OK	YPbPr
625i	720 x 576i	15.625	50.000	13.500	A	A	OK	OK	YPbPr
525p	720 x 483	31.469	59.940	27.000	A	A	OK	OK	YPbPr
HDTV60	1 920 x 1 080i	33.750	60.000	74.250	A	A			YPbPr/RGB
HDTV50	1 920 x 1 080i	28.125	50.000	74.250	A	A			YPbPr/RGB
750P	1 280 x 720	45.000	60.000	74.250	A	A			YPbPr
VGA400	640 x 400	31.469	70.086	25.175	A	A	OK	OK	RGB
	640 x 400	37.861	85.081	31.500	A	A	OK	OK	RGB
VGA480	640 x 480	31.469	59.940	25.175	A	A	OK	OK	RGB
	640 x 480	35.000	66.667	30.240	A	A	OK	OK	RGB
	640 x 480	37.861	72.809	31.500	A	A	OK	OK	RGB
	640 x 480	37.500	75.000	31.500	A	A	OK	OK	RGB
	640 x 480	43.269	85.008	36.000	A	A	OK	OK	RGB
SVGA	800 x 600	35.156	56.250	36.000	A	AA	OK		RGB
	800 x 600	37.879	60.317	40.000	A	AA	OK		RGB
	800 x 600	48.077	72.188	50.000	A	AA	OK		RGB
	800 x 600	46.875	75.000	49.500	A	AA	OK		RGB
	800 x 600	53.674	85.061	56.250	A	AA	OK		RGB
MAC16	832 x 624	49.725	74.550	57.283	A	A	OK		RGB
XGA	1 024 x 768	48.363	60.004	65.000	AA	A			RGB
	1 024 x 768	56.476	70.069	75.000	AA	A			RGB
	1 024 x 768	60.023	75.029	78.750	AA	A			RGB
	1 024 x 768	68.678	84.997	94.500	AA	A			RGB
	1 024 x 768i	35.520	86.952	44.897	AA	A			RGB
MXGA	1 152 x 864	63.995	71.184	94.200	A	A			RGB
	1 152 x 864	67.500	74.917	108.000	B	B			RGB
	1 152 x 864	76.705	85.038	121.500	B	C			RGB
MAC21	1 152 x 870	68.681	75.062	100.000	B	B			RGB
MSXGA	1 280 x 960	60.000	60.000	108.000	B	C			RGB
SXGA	1 280 x 1 024	63.981	60.020	108.000	B	B			RGB
	1 280 x 1 024	79.977	75.025	135.001	B	C			RGB
	1 280 x 1 024	91.146	85.024	157.500	B	C			RGB
	1 400 x 1 050	63.981	60.020	108.000	B	B			RGB
UXGA	1 600 x 1 200	75.000	60.000	162.000	B	C			RGB

\*1 解像度の後ろの "i" は、インターレース信号を示しています。

\*2 画質を表す記号は下記の通りです。

AA 最高の画質で投写できます。A 画像処理回路で変換を行い投写しています。

B データを間引いて簡易投写しています。C 投写できません。

\*3 リサイジングの項にOKのついている信号は、映像メニューのリサイジング(39ページ)を設定できます。



# 保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は……  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 1. 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

## 2. 保証期間

お買い上げ日から本体1年間。  
ただし光源ランプは6ヵ月または600時間の早い方

## 3. 修理を依頼されるとき

52ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。ただし、1年未満でも液晶パネルや偏光板などの光学部品の交換は、有料になる場合があります。

### ● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料**は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代**は、修理に使用した部品および補助材料代です。

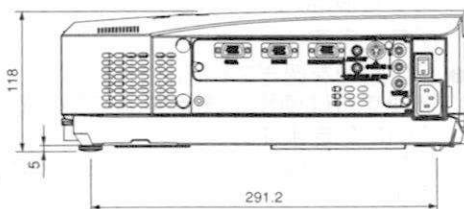
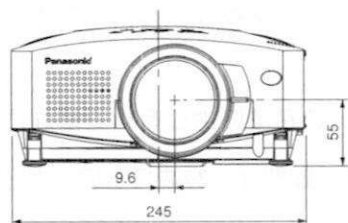
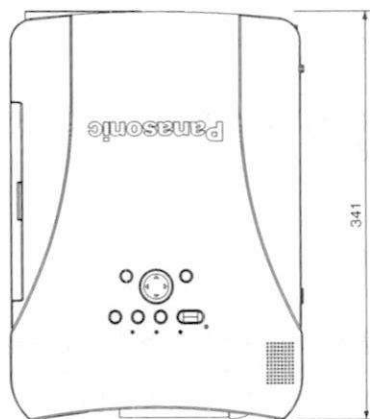
**出張料**は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容	
ご氏名	
ご住所	付近の見取図、目印など。
電話番号	呼び出しでもけっこうです。
製品名・品番 お買い上げ日	お手もとの保証書をご覧ください。
故障または異常の内容	モニターランプ点灯状況を含め、詳しくお願いします。
ご訪問ご希望日	ご都合の悪い日もあわせて。

その他

# 外形寸法図

<単位：mm>



#### 商標について

- VGA、XGAは米国 International Business Machines Corporation の商標です。
- Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- S-VGA は Video Electronics Standards Association の商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

この取扱説明書は再生紙を使用しております。

S0502-4112D

松下電器産業株式会社  
システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161